

# 重症心身障害児者等 医療型短期入所コーディネート業務

## 経過報告 〈2024年11月現在〉

社会福祉法人 陽光福社会  
仙台エコー医療療育センター



# 保護者が必要とする在宅重症心身障害児者における 3つのセーフティネット・7つの施策 令和5年 署名活動（10000筆超）

## I. 日常的セーフティネット

- ① **医療型短期入所病床**（単独型かつ感染対応可能）の増床・整備
- ② 医ケア重症児者に対応できる通所（**生活介護、放課後等デイサービス**など）事業所の拡充・整備
- ③ 通所・短期入所における**送迎サービス**の拡充・整備
- ④ 特別支援学校における医ケア重症児者の安全性の確保

## II. 最終的セーフティネット

- ⑤ **医療型長期入所病床**の増床・整備

## III. 医療的セーフティネット

- ⑥ 重症児者の**小児移行期医療**に対応するための受け入れ医療機関の整備
- ⑦ 重症児者医療に従事する**医師配置の適正化**



# 業務目標

## 1. 情報の集約及び利用希望者からの問い合わせ対応

① 事業所**情報の集約**

② 利用希望者からの**問い合わせ窓口開設**

## 2. **重症心身障害児者・医療的ケア児者等のケアに関する知識や技術の共有**を目的とした**研修プログラム**の構築及び実施

## 3. 実務者レベルでの**事業所間の連携強化**

(担当者会議の開催等)

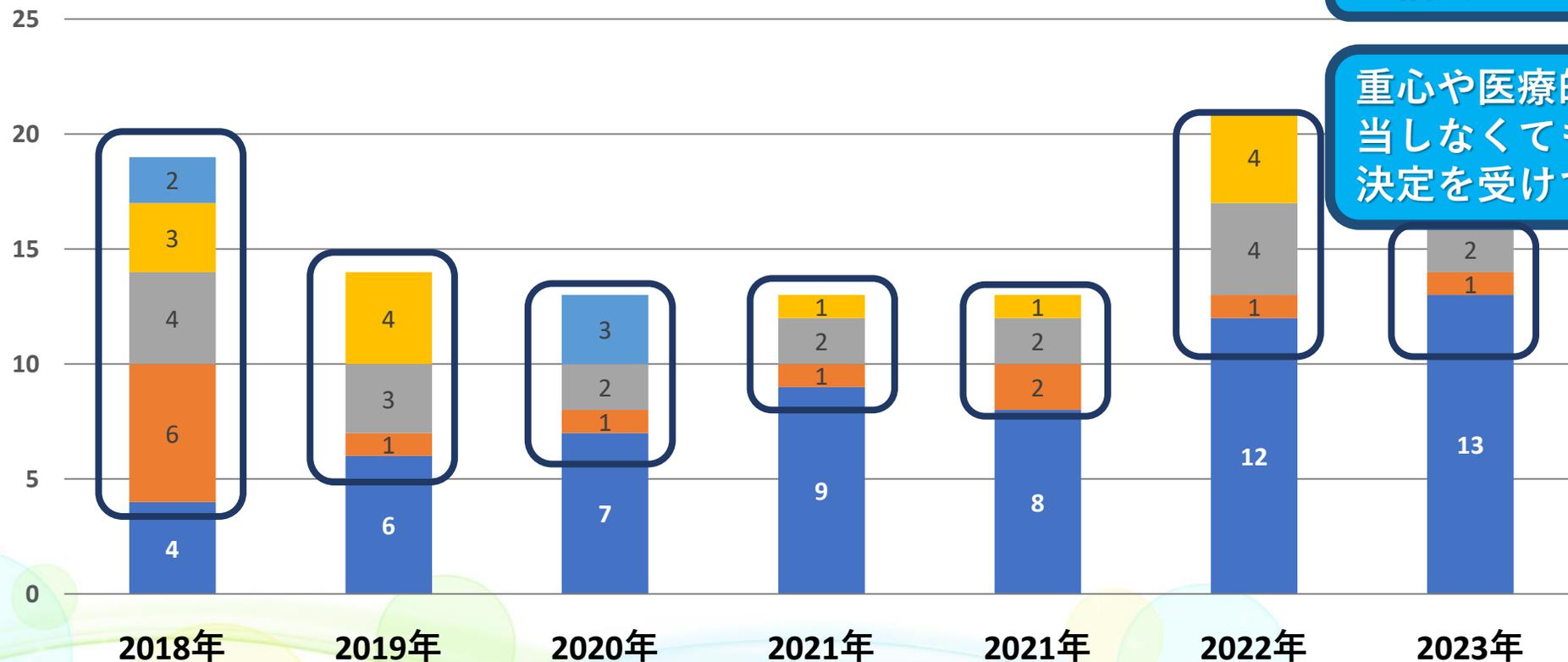


# 利用希望者からの問い合わせ窓口

## 疾病または障害別 相談件数

医療型短期入所に向けられる利用者像は幅広い

重心や医療的ケアスコア16以上に該当しなくても、医療型短期入所の支給決定を受けている方は、かなり多い。



- 重心
- 交通事故等後遺症
- 難病 (筋ジス、ALS等)
- 重心ではない障害児者
- その他・不明



# 利用希望者からの問い合わせ窓口

医療型短期入所に向けられる利用者像は幅広い

重心や医療的スコア16点以上に該当しなくても、医療型短期入所の支給決定を受けている方は、かなり多い。

## 事例として...

神経難病者の相談も多い



宮城県神経難病医療連携センターと情報共有会議

- 神経難病者のレスパイト入院の受入れ可能病院が減っている...
- 実は... 神経難病医療連携センターも医療型短期入所の活用も期待していた...

高齢者や交通事故後遺症（成人期）等の方の相談もある



- ・ 高齢者で身体障害者手帳所持者も、介護保険に上乗せで、医療型短期入所の支給決定あり、利用したいと希望
- ・ 普段は、レスパイト入院（医療入院）で定期的な主たる介護者の休養
  - 入院より、短期入所の方が自己負担額を軽減できるため、利用できるか相談 等

他にも...

- ・ 頻繁にてんかん発作があり歩行可能な知的障害者（医療的ケアなし）。福祉型で断られた...
- ・ 精神障害者 等



# 利用希望者からの問い合わせ窓口

福祉型で断られた知的障害  
または身体障害者  
(医ケアスコア16点未満)

交通事故後遺症等  
中途障害者

高齢者  
医療型短期入所  
支給所持

在宅者を支えるセーフティーネットとしての役割（社会資源）の重要性、期待感の表れ

神経難病者

医療型短期入所

精神疾患

重症心身障害児者  
医療的ケア児者



# 研修プログラムの構築及び実施

新規開設した病院を対象に、医療型短期入所のノウハウ共有  
(医療・ケア・家族支援等)

研修チーム：医師、看護師、理学療法士、  
言語聴覚士、相談員



## 座学研修

- ・ 出張研修会開催
- ・ オンライン講座
- 医療、看護、リハビリ、家族の思い
- ・ オンデマンド配信
- ・ 全体研修会
- 利用者家族の思い、事例紹介、講演



## リンクナース研修 (実技実習)

- ・ 実習受け入れ
- ・ 既存他施設での実習
- ・ オンライン



## アドバイザー研修 (出張サポート)

- ・ 初回体験利用時訪問
- ・ 食事場面時訪問 等

より現場職員が必要とする内容へカスタマイズ化  
知識・技術から経験値への橋渡し  
相談しやすいネットワークづくり



# 受け入れ状況

小児～就学前受入可能：**13**事業所中**5**事業所

小学生 受入可能：**13**事業所中**7**事業所

小児・児童期受入可能が限定的  
→小児科医の対応できない

人工呼吸器 受入可能：**13**事業所中**7**事業所

IPV等排痰補助装置受入可能：**13**事業所中**6**事業所

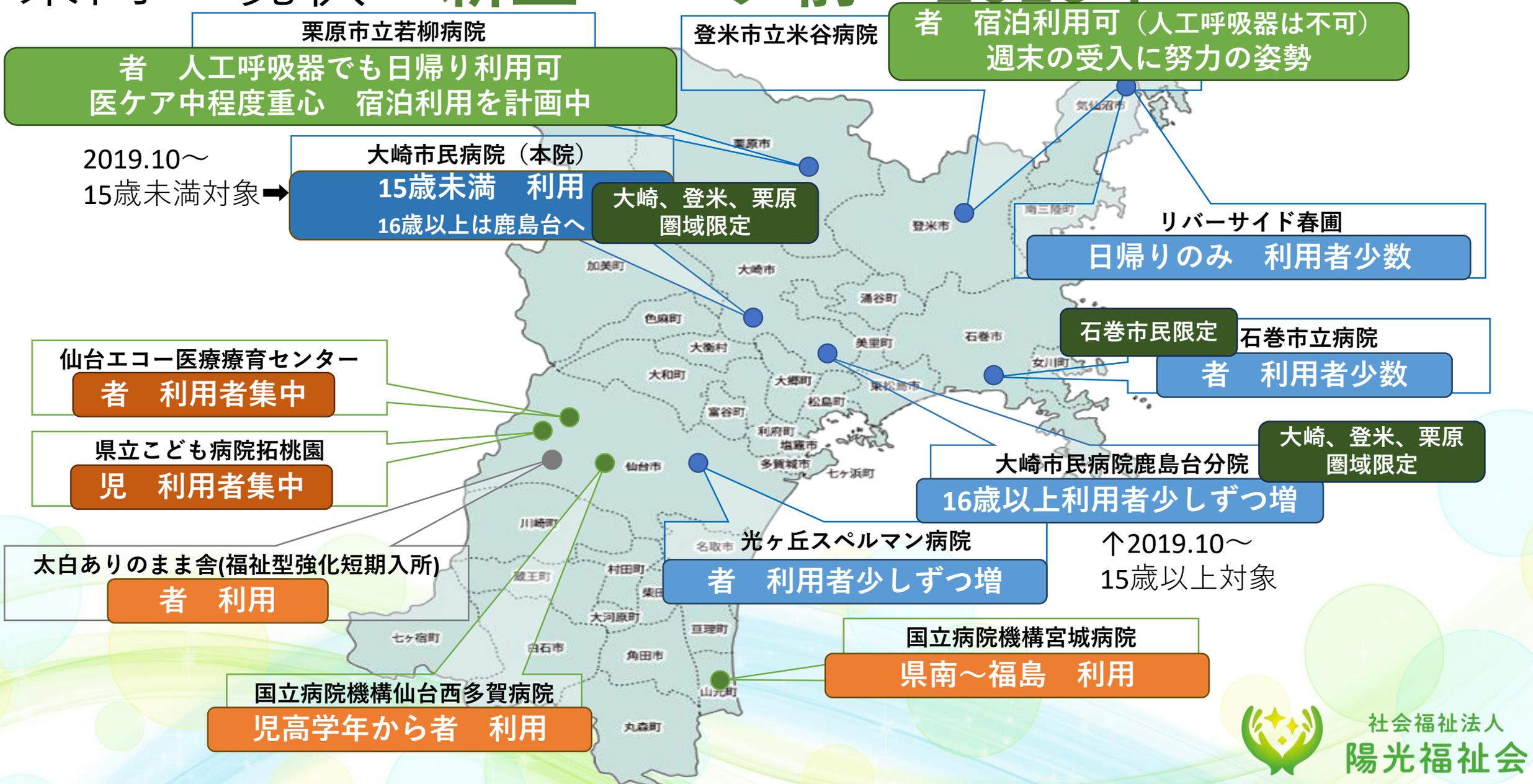
人工呼吸器類の受入が限定的  
→普段から人工呼吸器類の患者に触れていない  
→人員不足も影響

入浴 可能：**13**事業所中**8**事業所

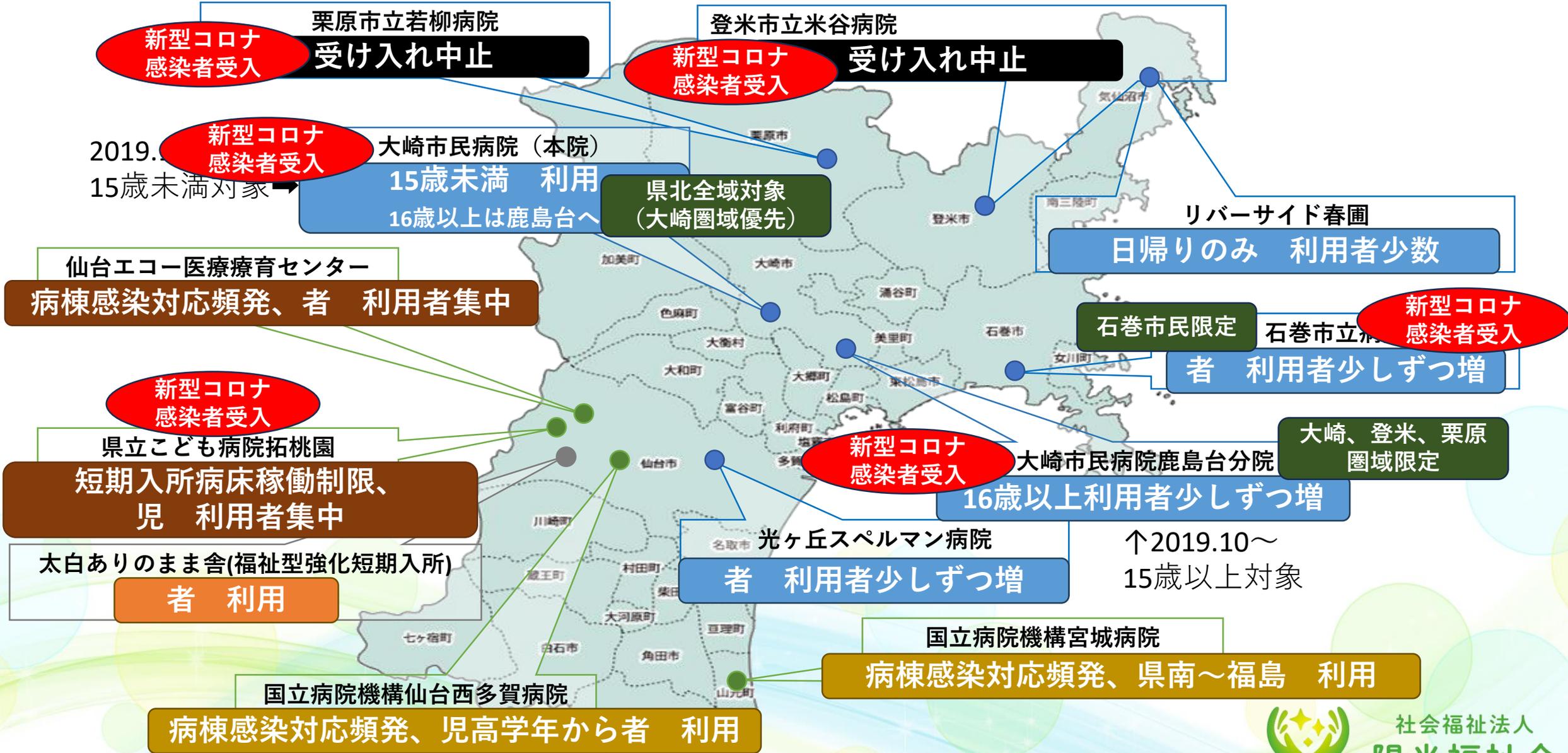
入浴対応が困難な施設も  
→連泊希望者のニーズが満たせない



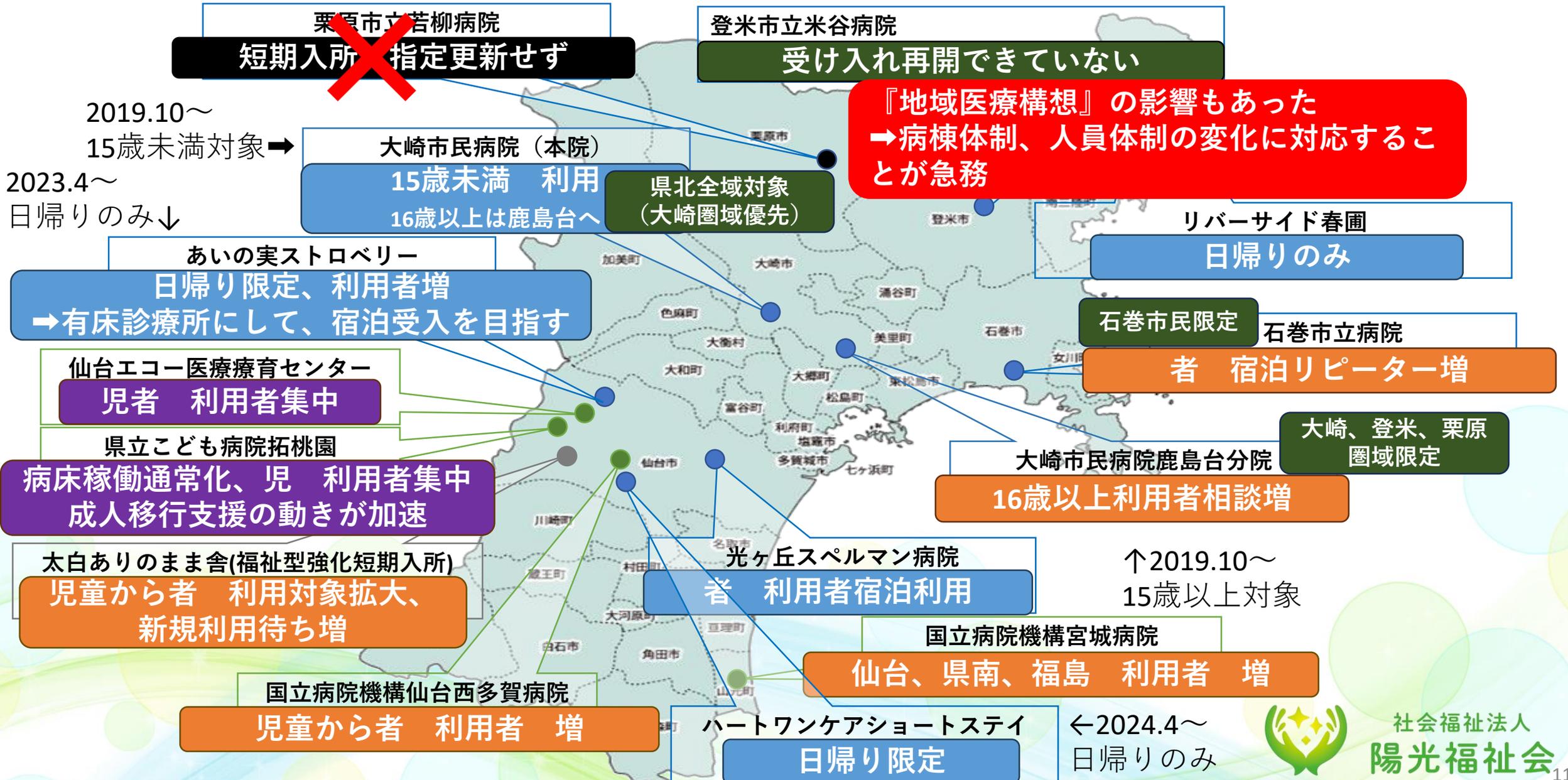
# 県内の現状 新型コロナ前 2019年



# 県内の現状 新型コロナ渦 2021年11月以降



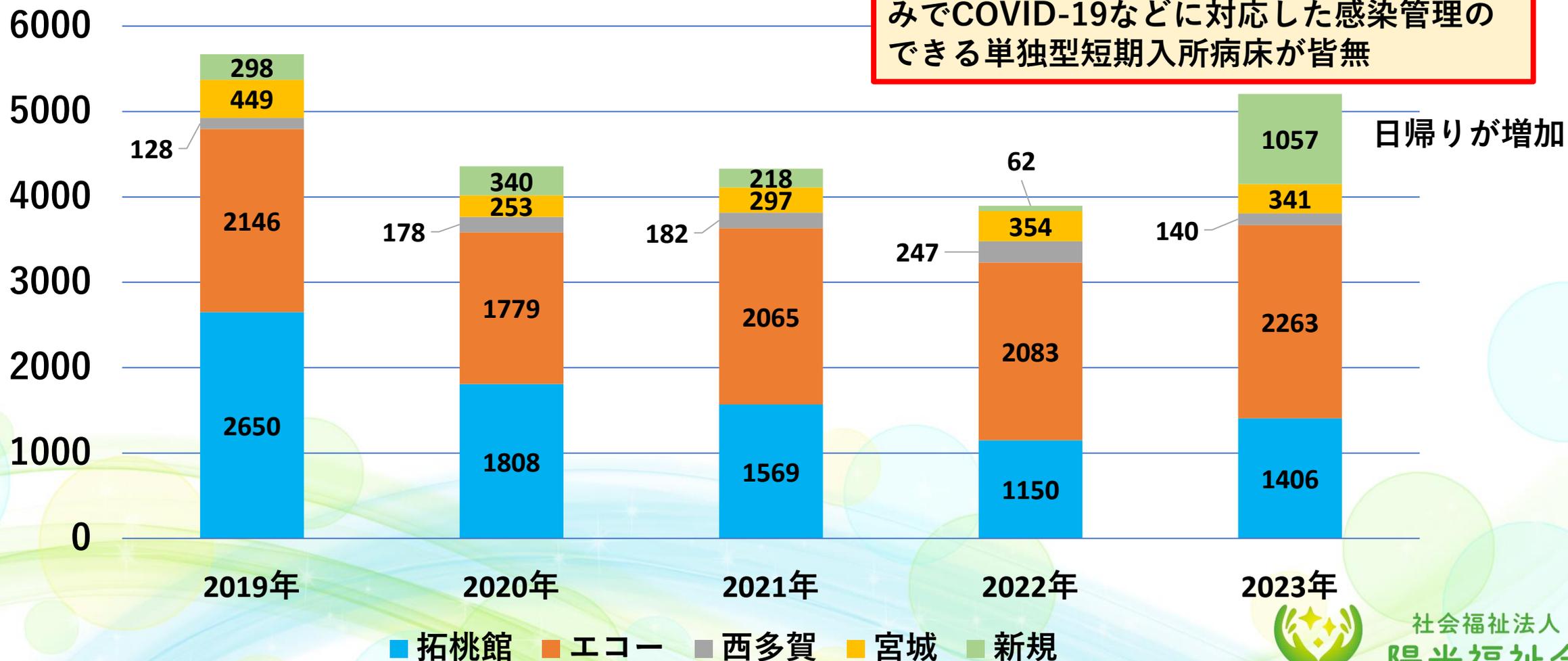
# 県内の現状 新型コロナ5類へ 2023年5月以降



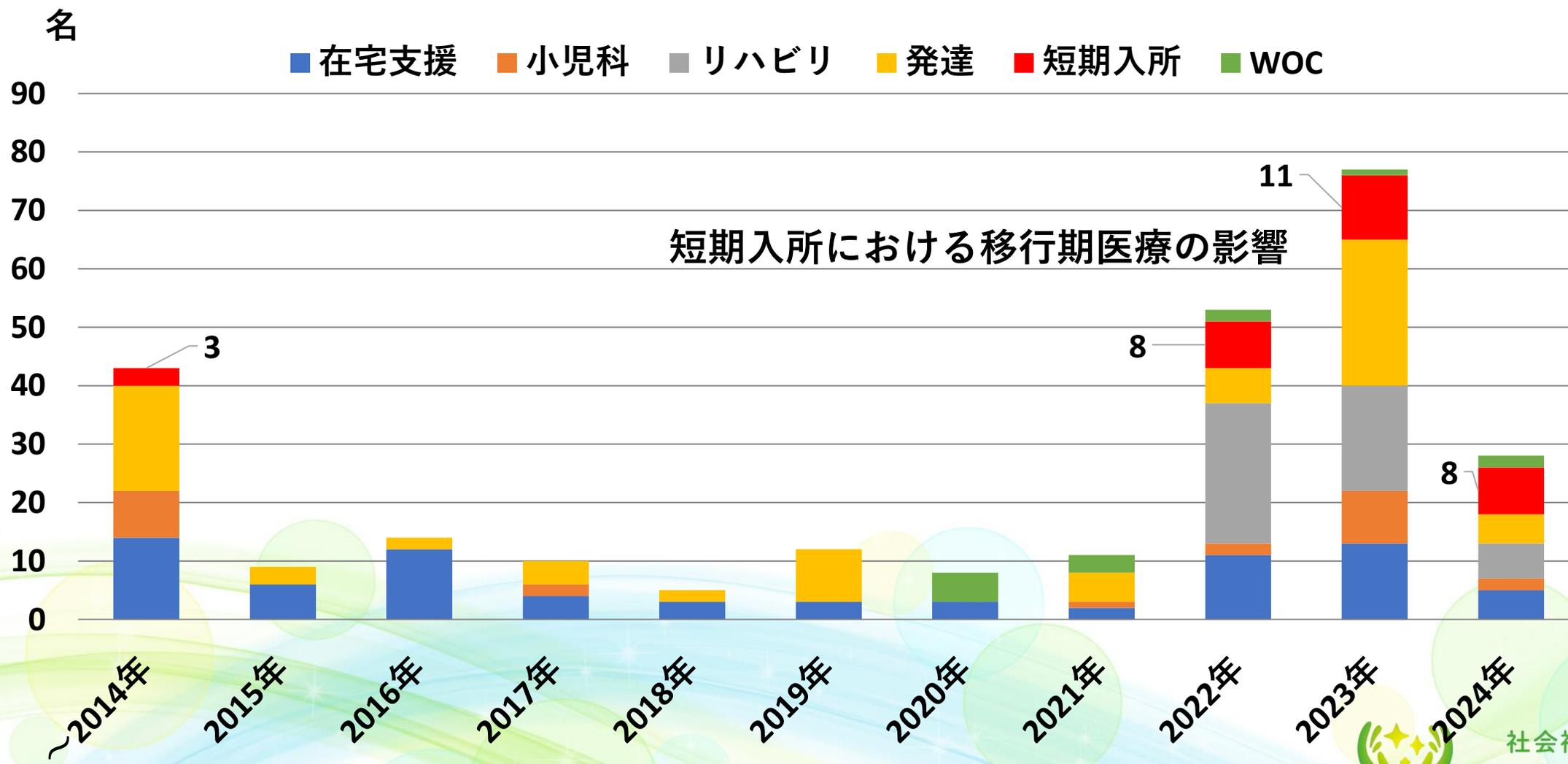
# 医療型短期入所受け入れ状況 COVID-19の影響について

県内の短期入所病床は、併設型と空床型のみでCOVID-19などに対応した感染管理のできる単独型短期入所病床が皆無

受け入れのべ日数



# 仙台エコー医療療育センター外来新患数



# 今後の展開

## 新規開設した事業所の受入れ実績向上の模索

- ・【研修】現場看護師の不安・負担感につながる、よりカスタマイズした研修の提供
- ・【相談】コーディネーター相談窓口につながったケースについて、『相談のその後』への積極的なフォローアップ  
→リピーターになっていない方に積極的な相談介入。再度、利用者と事業所を橋渡し
- ・【各事業所の連携】受け入れ稼働がうまくいかない原因第1位：人員不足、人手不足  
→各事業所や県・仙台市と共に費用補助等の検討（例 介護職や保育士の配置補助等） 等

『地域医療構想』の変化の中で、短期入所の稼働を加速させる効果的な原動力は何か？

医療機関が医療型短期入所を行いたくなるメリットとは？  
人材補助？現場看護師の不安感・負担感へのアプローチ？利用希望者と事業所とのマッチングを丁寧にフォローアップ？

## 関係機関やネットワークとのつながり

### 今の利用ニーズを受け止める方法の模索

多様な利用ニーズに応えるためのネットワークや情報を収集。  
適切な情報提供を行う相談窓口へ

- ・医療型短期入所のみならず、医療的ケア児者を受けている短期入所事業所・医療機関（レスパイト入院等）、介護保険施設等の情報を収集し、つながり継続・拡大へ
- ・MMWIN重心連携、仙台市医療型短期入所開設支援事業、宮城県医療的ケア児等相談支援センター、宮城県神経難病医療連携センター等との専門機関とつながり継続・拡大へ 等

## 医療型短期入所・福祉型強化短期入所 病床の増加

### 『近くの地域で利用できる』と『急務な緊急対応力』

家族の休息（レスパイト）から緊急対応まで在宅を支えるセーフティネット。適切な短期入所病床配置を行政と共に考えたい。

- ・宮城県・仙台市と共に短期入所病床増加に向け、具体的な検討を重ねる。



引き続き、宮城県・仙台市の共同事業  
『医療型短期入所コーディネート業務』を担い  
求められる社会資源となれるように尽力してまいります。

今後とも、ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。  
ご清聴、ありがとうございました。

